

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境					0.35		-	3.3
1 音環境				3.0	0.15		-	3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-	
1.2 遮音			建具はT-2性能以上	4.2	0.40		-	
1 開口部遮音性能				5.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-		-	
1.3 吸音				1.0	0.20		-	
2 溫熱環境				2.3	0.35		-	2.3
2.1 室温制御				2.5	0.50		-	
1 室温				3.0	0.38		-	
2 外皮性能				1.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-	
2.3 空調方式				3.0	0.30		-	
3 光・視環境				4.1	0.25		-	4.1
3.1 昼光利用			昼光率: 2.5%以上	4.2	0.30		-	
1 昼光率				5.0	0.60		-	
2 方位別開口				-	-		-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策			庇+ブラインド	4.0	0.30		-	
1 昼光制御				4.0	1.00		-	
3.3 照度				3.0	0.15		-	
3.4 照明制御			1作業単位で照明制御でき、リモコンで調整できる	5.0	0.25		-	
4 空気質環境				4.0	0.25		-	4.0
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質			天井裏を含めほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00		-	
4.2 換気				4.0	0.30		-	
1 換気量			換気量の1.4倍を確保	5.0	0.33		-	
2 自然換気性能				3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮			空気の取り入れ口は各種排気口と6m以上離隔して設置	4.0	0.33		-	
4.3 運用管理				4.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御			全館禁煙	5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.5
1 機能性				3.3	0.40		-	3.3
1.1 機能性・使いやすさ				2.3	0.40		-	
1 広さ・収納性				3.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画				3.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30		-	
1 広さ・景観			天井高さ4.0m以上。外部に面する窓を有する。	5.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース			リフレッシュスペースは執務スペースの22.48%を確保+自販機の設置	5.0	0.33		-	
3 内装計画			建物コンセプトに基づく内装デザインがされている	5.0	0.33		-	
1.3 維持管理				3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				3.4	0.30		-	3.4
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				4.2	0.30		-	
1 車体材料の耐用年数			品確法等級2相当	4.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			カラーガルバリウム鋼板を使用	5.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			ビニルタイル等を使用	5.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			-	3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			給水: VLP(B)、排水: VP(B)、冷媒: 銅(C)	5.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			-	3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				3.6	0.20		-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-	
3 電気設備			非常用発電機の設置、電源設備の地下設置回避等	4.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法			耐震クラス: Aクラス	4.0	0.20		-	
5 通信・情報設備			通信手段の多様化、精密機器の地下設置回避等	4.0	0.20		-	

3	対応性・更新性		3.9	0.30	-	-	3.9
	3.1 空間のゆとり	階高:6.1m以上 壁長さ比率:0.08	5.0	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり		5.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ		5.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性	-	3.8	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	構造部を痛めず更新が可能	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	仕上材、構造部を痛めず更新が可能である	4.0	0.20	-	-	
Q3	3.3 設備の更新性	構造部材だけではなく、仕上げ材を痛めること無く修繕更新が可能	5.0	0.10	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	5.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	5.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	バックアップ設備スペースの計画がある	4.0	0.20	-	-	
	Q3 室外環境(敷地内)		-	0.35	-	-	2.8
	1 生物環境の保全と創出	-	3.0	0.30	-	-	3.0
	2 まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮	-	2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	2.0	0.50	-	-	
	LR 建築物の環境負荷低減		-	-	-	-	3.9
	LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.0
	1 建物外皮の熱負荷抑制	断熱性能の高い躯体構成及び建築材を使用	5.0	0.20	-	-	5.0
	2 自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
	3 設備システムの高効率化	効率のよい設備機器を導入	4.3	0.50	-	-	4.3
4	集合住宅以外の評価		4.3	1.00	-	-	
	集合住宅の評価	-	-	-	-	-	
	効率的運用	-	3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価	-	3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価	-	-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
LR2	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	4.0
	1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	自動水栓に加えて節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	-	3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-	
	2 雜排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-	
	2 非再生性資源の使用量削減		4.4	0.60	-	-	4.4
3	2.1 材料使用量の削減	機械式継手等の採用	4.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	高炉セメントB種を使用	5.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	グリーン購入法、エコマーク商品を採用	5.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS工法、OAフロアの採用	5.0	0.22	-	-	
	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
LR3	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	GWP値の低い断熱材の採用	4.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.7
	1 地球温暖化への配慮	高効率な設備機器の採用によるCO2の削減	4.9	0.33	-	-	4.9
	2 地域環境への配慮		2.9	0.33	-	-	2.9
	2.1 大気汚染防止	燃焼機器の設置は無い	5.0	0.25	-	-	
3	2.2 温熱環境悪化の改善	-	2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	指導された規模以上の流出抑制対策を実施	4.0	0.25	-	-	
	2 污水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
3	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制	周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画	4.4	0.20	-	-	
3	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	5.0	0.70	-	-	
	2 曙光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

